

平成22年7月27日定例経営会議（要約）

（平成22年7月27日 午前9時00分～10時50分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・たいへん暑い日が続いている。お互いにしっかりと体調を管理したい。
- ・7月13日に姉妹都市である米国ミズーリ州インディペンデンス市から学生訪問団12名が来訪し、今朝帰国した。一緒に当市の学生訪問団もインディペンデンス市に旅立った。同じく今朝、友好交流都市である中国江蘇省蘇州市へ、訪問団が出発したところである。このところ海外への訪問がつづくが、皆の無事を祈っている。
- ・7月17日に、栄町ふれあいセンターにおいてタウンミーティングをおこなった。市民部、経営政策部はご苦労様であった。出された意見としては、
 - ・参議院選挙が終わった直後ということもあり、「高齢者が、投票所の八坂小学校まで府中街道を越えて行くことはたいへんである。もっと安全で身近な場所で投票できるようにしてもらえないか」という話であった。このタウンミーティング以外でも何件か、「投票所までが遠い」という声や、諏訪町では例年化成小学校を投票所としているが、今回、校舎の耐震補強工事のため、ふるさと歴史館でおこなったところ、「車を停める場所がなく、行ったけれど投票できなかった。それならば最初から情報提供や案内をしてほしい」という苦情をいただいている。選挙管理委員会事務局でも承知をしているであろうが、投票所の問題で苦情が出ていることは私の耳にも直に入っているので、対応改善できるかどうか検討していただきたい。
 - ・「久米川駅前は、夕方になると付近の飲食店の呼び込みが多い。美観上もあまり良くないのではないかと、何らかの取り締りができないか」との投げかけをいただいた。現在の市条例等でどこまで対応できるか、検討する必要がありそうである。
 - ・都市環境関係では、「北口広場ができて良くなった。バス停にベンチを設置してほしい」「できれば空堀川沿いにもベンチの設置を」との要望があった。北口バス停のベンチについては「バス会社にお問い合わせします」、空堀川については「東京都にお問い合わせします」と話した。
 - ・野火止小学校では、子どもたちに野火止用水での水遊びを禁止しているそうである。理由は、『危険だから』ということではなく、『以前発生した鯉ヘルペスで汚染され、人が感染することはないが、人を媒介して鯉に広がる可能性があるから』ということである。「せっかく子どもたちが遊べる水辺空間があるのに、いつまでもこの状態でもいいのか。遊べるようにしてあげてほしい」という話である。教育委員会とみどりと環境課で検討していただきたい。
- ・シルバー人材センターで、富士見小学校の登下校時に児童の交通安全の見守りとして

働いている人から「自分が立っている時間は児童が通らない。無駄ではないか」との話であった。富士見小学校1番という新青梅街道を渡る歩道橋付近に立っているようで、登校時の7時30分から8時30分までは児童が通る。しかし、下校時の1時45分から3時15分まで立っているが、少なくとも2時までは児童は通らない。いつも2時から3時30分までが通る時間なので、「時間をずらした方がいいのでは？」とシルバーの事務局に提案したが、「学校からその時間と指示されているので」と言われ、「とても無駄である」という意見であった。教育部で状況を確認していただきたい。

- ・教育委員会関係で、発達障害児のお母さん方から、「武蔵村山市の特別支援教育を紹介した冊子は、非常にわかりやすく丁寧に書かれている。東村山市もこうした冊子を作成中と聞いているが、ぜひこのような内容にしてほしい」というご意見だった。
- ・アパート経営をしている方から「入居する人が、市で転入の手続きをしたときに、ごみの出し方等についての冊子をもらえず説明もなかった。ごみの出し方がわからない入居者がいる」とのことである。転入者に対しては、ごみの出し方の冊子等を渡すこと、また、きちんと説明することを徹底してほしい。

その他、親水公園やコミュニティバス等に関する話や要望があった。

- ・7月24日、地域防災訓練が行われた。防災安全課はご苦労様であった。暑い最中であったが、今回は夜間震災訓練をやめ、地域の皆さんで企画・運営をしていただいた。萩山町でこのような地域の自主的な防災訓練を行うのは2回目である。暑さにも関わらず200名以上の市民が参加された。萩山町では、来年も行うと話している。来年は青葉町もやるそうである。ありがたいことであり、行政としてどのように対応するか、検討いただきたい。
- ・この間、公務や諸行事の合間で時間をいただき、久しぶりにいくつかの講演を聴かせていただいていた。いつかまとめて話をさせていただきたいと思うが、7月15日に聴いた話のみ紹介させていただく。現在、農林水産省の企画官である木村俊昭さんという方の話である。木村さんは、元々北海道小樽市の職員で、地域活性化の様々な仕事をしているうちに、中央省庁に招かれた方である。今は農水省におられるが、その前は内閣府で仕事をしていたことがあり、その当時4年ほど、東村山市の萩山町にある内閣府の官舎に住まわれていた。NHKの「プロフェッショナル」という番組にも出演され、本も書かれている、最近非常に注目されている“スーパー公務員”である。この木村さんから地域活性についての話を聴かせていただいた。

「地域活性」といって、どうしても『これをやれば』という発想になりがちで、それでは部分的なところに留まってしまう。そうではなく、まち全体の最適化になるかどうかを考えながら、まちおこしや地域活性を考えていくことが大事である」とおっしゃっていた。当市にとってダイレクトにあてはまるかどうかかわからないが、「住民の所得が向上するか、そのことを通して人材が育成されるか、まちに人材が定着するかを検証する必要がある。また、まちのためにいろいろな分野で一所懸命活動している人たちを、きちんと皆で評価しているか」という話もあった。さらには、商品開発やイベントをおこなう

ときに、女性が参加しているかどうか。女性が入っていないところはうまくいかない、男性の発想だけで商品開発しても売れない、女性に活躍の場を与えることが大事」とおっしゃっていた。いずれにしても、「まちに住んでいる子どもたち、小学生のうちから長期的な視点でまちを知ってもらい、愛してもらいよう、誇りを持てる仕掛けをつくっていくことが、迂遠なようではあるが、一番のまちおこしに繋がる」というお話があり、なるほどと思った。

木村さんとは、講演後に名刺交換をさせていただき、メールでも何度かやりとりしている。ぜひ当市に来てほしいとお願いしたところ、「以前住んでいたまちであるので喜んで伺います」と言っていた。今は東久留米の官舎に住んでいるそうである。ぜひ何かの折に講演等をしてもらいたい、面白いだろうと考えている。

- ・市川一男元市長が先週木曜日、7月22日にお亡くなりになられた。享年91歳である。昭和58年から平成7年まで連続3期12年、市長をお務めになられた。その前は助役、その前は市議会議員と、永年に渡り市政に携わられた。特に、市川元市長の時代は、急激に経済が低調化する中で財政危機に直面し、特別実施計画を策定しながら行革を推進する等、たいへんご苦勞をされた。その後、また経済がバブル化し、急激な追い風もあったが、実施計画上の目標年次前に事業を達成されたこともあった。公共下水道を完備したのも市川元市長の時代である。他にも市政施行25周年に合わせ市民憲章を制定する等、たいへん厳しい時代の中で大きな功績と足跡を遺された市長である。

こうしたことから、今回、市川家と東村山市との合同葬儀というかたちをとらせていただく。私が葬儀委員長である。職員には、管理職を中心に公務の一環として葬儀の手伝いとお見送りをしていただくこととなるが、皆でできるだけ真心を込めてお見送りしていただきたい。今日と明日、たいへん暑い中ではあるが、ぜひご協力いただくよう、よろしく願います。

II 協議事項

(1) 組織活性化のしくみづくりについて

○前々回の集約

- ・各課から出た意見から、重点課題と考える3点を各部で抽出する。
- ・残り9ヶ月で、すべての部課係・担当において、円滑正確な事務引継ぎができるよう、業務マニュアルや引継書等の文書を整備すること、また、その文書をつくる仕組みをつくることを検討する。

○前回の集約

- ・各部で抽出した重要事項3点の説明、理事者の意見等、認識と情報を共有する。

○本日の論議

- ・資料「組織活性化のしくみづくり各部セレクト一覧」で確認、集約する。
- ・今年度、全庁的に実施する事項と、実施に際し必要となる事項を論議する。

○各部報告

○課題

- ・業務マニュアルの整備
- ・人事評価と人事異動
- ・管理職の機能・能力の向上
- ・その他（職員管理、コミュニケーションと情報共有）

○「業務マニュアルの整備」に絞り論議

- ・報告事項（1）「マニュアルの整備状況」について、ここで調査結果を報告する。

○その他

○集約

- ・基本的には業務マニュアルが整備されているが、未整備な部分がないか、再度各部課で洗い出し、今年度中に整備を補完するよう進める。
- ・その他、人事評価、人事異動、職員管理、コミュニケーション・情報共有、人事交流等の案は、総務部と協議しながら継続して論議する。

(2) 監査指摘事項への対応について

- ・次回以降に繰り越し、継続的に論議する。

Ⅲ 報告事項

(1) 市議会 9月定例会提出予定案件・所信表明事項について

(2) その他

- ・インディペンデンス市から東村山市への学生訪問団の帰国、及び、東村山市からイ市への学生訪問団の出国について
- ・蘇州市への交流団の出発について
- ・7月26日に発生した秋津郵便局強盗事件について

Ⅳ 閉会 ～ 副市長

以上